



静岡県教育委員会  
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

平成29年(2017年)  
3月21日  
火曜日  
第185号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 道徳の教科化へ向けて 研究指定校の取り組み

「思いやりの心を持ち、「道徳的価値に向き合い、社会の一員として、自ら自分のこととして感じさせたい」という願いのもと、研究を推進してきま

子ども」  
これは、平成27・28年

度道徳教育研究指定校である大仁中学校、大仁小学校、大仁北小学校の3校が共有する「目指す子ども像」です。

### 授業実践より

3校は「子どもたちが、人間としての生き方についての考えを深めることができる授業」を創り上げることを目指し、子どもたちの道徳性の実態を捉え、その実態に応じるために、資料を徹底的に吟味・分析し、実践を積み重ねてきました。

多くの子どもが「学校は楽しい」と感じていまは、そんな子どもたちに、

授業を終えた先生の言葉です。3校の研究実践

子どもたちが自らの良さと出会っている授業を

「今まで以上に子どもの良さを見つけてあげたいです」と、問いかけます。

「授業を終えた先生の言葉です。3校の研究実践

子どもたちが自らの良さと出会っている授業を

「授業を終えた先生の言葉です。3校の研究実践



の手紙」を読みました。保護者の思いが書かれた手紙を受け取ったある子どもは、「もう1回読んでいい？」と、一字一字食い入るように手紙を読み、大事に大事にその手紙を封筒にしまいました。このように充実した研究が推進された背景には、校長のリーダーシップはもとより、全ての教育活動と道徳教育の関係性を

「別業」といわれた計画の存在があり、この計画は、子どもの良さと出会っている授業を通して感じている子ども

は、常にその中心に「子どもが据えられていました。このような充実した研究が推進された背景には、校長のリーダーシップはもとより、全ての教育活動と道徳教育の関係性を

「別業」といわれた計画の存在があり、この計画は、子どもの良さと出会っている授業を通して感じている子ども

は、常にその中心に「子どもが据えられていました。このような充実した研究が推進された背景には、校長のリーダーシップはもとより、全ての教育活動と道徳教育の関係性を

## 社会総がかりで、いじめのない安心して生活できる「しずおか」に ～静岡県子どもいじめ防止条例が制定されました～

昨年12月、県議会において、「静岡県子どもいじめ防止条例」が議員提案により可決され、同月27日に公布されました。平成25年、社会問題化していたいじめに対し、「いじめ防止対策推進法」が施行され、各学校でも対応に努めてきましたが、いじめの根絶には至っていないのが現状です。

### 条例の内容は?

いじめは、いつでもどこでも起こり得るものであり、誰もが被害者にも加害者にもなる可能性があります。いじめはどのような理由があろうとも、許されない行為です。いじめを身近な問題と捉え、いじめの防止に社会総がかりで取り組むことにより、誰もが互いを尊重し、ともに支え合う共生社会の実現につながります。(条例前文から抜粋)

この条例では、いじめの防止に向けた基本的な考え方ははじめ、学校の設置者、学校及び教職員、保護者等それぞれの責務や社会総がかりでの取り組みを推進する姿勢などを明示しています。また、ネットいじめについて触れていることも大きな特色です。

### リーフレットと「相談マップ」を作成します!

県教育委員会では、条例の内容を分かりやすくまとめたリーフレットを作成し、学校を通じて県内の児童生徒に配布します。

また、児童生徒がいじめなどの悩みについて、相談できる関係機関の一覧を掲載した「いじめ・悩みごと相談マップ」を各学校に掲示します。

静岡県子どもいじめ防止条例を踏まえ、全ての人がいじめのない、安心して暮らせる社会を目指していきましょう。【高校教育課】



いじめ・悩みごと相談マップ

自分がかんになったとき、身近な人や知り合いがかんになったときに、さまざまな状況

自分がかんになったとき、身近な人や知り合いがかんになったときに、さまざまな状況

自分がかんになったとき、身近な人や知り合いがかんになったときに、さまざまな状況

自分がかんになったとき、身近な人や知り合いがかんになったときに、さまざまな状況

自分がかんになったとき、身近な人や知り合いがかんになったときに、さまざまな状況

自分がかんになったとき、身近な人や知り合いがかんになったときに、さまざまな状況

### 【県立磐田農業高等学校】

1年生の保健の授業では、毎時間10分程度、文部科学省作成の教材に沿ってがん教育を行いました。

生徒の職場で行っている「がん対策」についてアンケートを取りました。また、文部科学省作成の指導案、教材を活用して保健の授業を行った上で、専門医師や日本オストミヤ協会静岡県支部代表者による講演を行いました。

生徒の職場で行っている「がん対策」についてアンケートを取りました。また、文部科学省作成の指導案、教材を活用して保健の授業を行った上で、専門医師や日本オストミヤ協会静岡県支部代表者による講演を行いました。



【静岡教育事務所】



公開事業でのグループワークの様子(磐田農業高校)

がんは日本人の死亡原因の第1位であり、生涯のうち国民の2人に1人がかかるものと推測される。身近な病気です。がんの種類によって差はありますが、その多くは早期発見で約9割が治るとされ、予防の必要性も高まっています。そこで県教育委員会では、学校教育の段階からがんとがん患者に対する正しい認識や命の大切さなどに対する理解を深めてもらおうと、「がんの教育総合支援事業」を実施しています。

3年目を迎えたこの事業では今年度、高等学校2校をモデル校とし、取り組みを推進してきました。

水谷明子看護教諭の感想  
生徒は、授業回数を重ねることにがんを身近な病気として捉えられるようになってきました。最後の授業の感想では、グループ内の意見を取り入れつつ自分ができていることについて明確に書いていました。

須藤芳久教諭(保健体育)の感想  
生徒の興味関心が授業によって高まり、その後の講演も真剣に聞くことができました。今後の日常生活や家族の健康にも大いに活用されることを願います。

塩分を取りすぎないようにしたい」といった感想が寄せられました。

今後に向けて  
県教育委員会では、「がんを正しく理解し、自己管理ができるようになること及び、自他の命の大切さを知り、周りの人を大切にできる児童生徒」の育成を目指してがん教育の取り組みを進めていきます。中学校の次期学習指導要領でも、がんについて取り扱うことが予定されているため各学校においては積極的にがん教育を取り入れていただければ、文部科学省が発行した「がん教育」の在り方に関する検討会」の報告書、今後発行する県教育委員会でもまとめた平成28年度のがんの教育総合支援事業報告書や指導参

【健康体育課】

実践NOTE 369

# 子どもも主体の授業を目指して

菊川市立加茂小学校 教諭 八塚勝宏



筆者



子どもたちと一緒になわとび

本校は「できる!という気持ちが高まる授業」という研究テーマの下、子どもたちに問いが生まれることに重点を置いた授業づくりを目指しています。

## 授業の土台は、学び合う集団づくり

楽しい授業、「できる!という気持ちが高まる授業」を行うためには、学び合う学習集団をつくる

まず私が心掛けたことは、子どもたちと接する時間を増やすことでした。教師と子どもの豊かな人間関係が、学び合う学習集団の形成には必要不可欠だからです。休み時間にボール遊びをしたり、縄跳びの練習をしたりして子どもと触れ合える時間を大切にしました。その中で教室では見ることができなかった子どもたちの輝く姿を、たくさん発見できました。

「できていいから簡単だ」という気持ちで済んでしまった。その効果的な利用方法にできない問題を出すと、「分数の方がよっぽどいい」と自分たちで分数の良さに気付きました。このように、子どもたちの考えに違いが生まれ、自然に話し合いがたくなる問いがあると主体的な学びになると実感しました。

## グループの話し合いにひと工夫

授業の中で、グループでの話し合いを行うときには、まず一人学びの時間を取り、自分の考えを保持させます。「どうしたらいいのか分からない」とも、その子の考えとして受け止めます。その後、話し合う方法を明確にします。単に「話し合おう」というだけでは、指示すると、知識が豊富な子どもだけで話し合いが進んでしまいがちです。そこで、話し合いの司会者を決め、司会者が自分の考えがまとまらずに困っている子どもの意見を先に聞いたり、考えが違っているところを取り上げたりしながら、話し合いができるようにしました。始めは一方的な伝え合いになっていくものが、徐々に自分と友達の考えを比較しながら伝え合う対話になっていきました。



夏祭りでの金魚すくい

## 考えの違いから生まれる学び

算数が苦手な少数人数の集団(6年生)で、「分数と小数が混じった加法」の授業を行いました。ほとんどの子どもは、分数にそろえて計算したのですが、1人だけ小数にそろえて答えを出しました。その発表を聞いた子どもたちは、「小数の方が通分をしな

## 効果的にICT機器を活用

今年度、菊川市より児童用のiPadが70台支給されました。本校ではその効果的な利用方法について、情報主任を中心に日々研究を重ねています。今年度、私が実践した活用例を紹介します。



iPadを使って世界の国々の写真を見る子どもたち

## 終わりに

研究テーマに沿った授業研究とともに、ICTの有効活用、学級集団づくりなどについても校内研修を行ったことで、子ども主体の授業に近づけることができました。

今後も研究テーマに向かって研修を積み重ね、主体的に学ぶ子どもが育つように努めていきたいと思えます。

実践NOTE 370

# 生涯学習につながる理科・科学教育

小山町立小山中学校 教諭 土屋雅志



人形とパイプを使ったブランコの実験をする筆者(右)

中学3年生の「力学的エネルギーの保存」のまとめ・発展の授業では、エネルギーの変換を理解することをねらいとして、誰もが一度はこいだことがあるブランコを使い



休み時間もブランコの周りに集まり議論する生徒

私たち理科教員は、幼保小中高一貫での学び、また、その後のライフステージをも意識した「理科・科学教育」を充実させていくことが求められています。子どもが生涯にわたり理科に興味を持ち、学び続けることができるよう、子ども一人一人の発達段階に応じた理科の学力を育んでいきたいと思います。これまで学校の内外で、さまざまな取り組みを実践してきました。今回は、そのいくつかを紹介いたします。

## 本物に触れる授業や、理科の楽しさを実感できる体験を

理科では、学んだことが日常生活にどう生かされるか、結び付いているかを生徒が実感しながら、学習していくことが大切です。

かと思ったりするなど、説明なども自然に生まれられます。私の予想していた以上に考えを深め、休み時間もブランコの周りで意見を交わしている姿が見られました。

そんな生徒の姿を見て、私自身も新たな実験や疑問に思っていることに挑戦すること(科学すること)は、理科の魅力を生徒に伝える意味でも、とても大事なことであり、改めて感じました。

私は「〇組学会」と名付けた、話し合い活動を授業の中で積極的に取り入れています。例えば、授業で「パランスの取れた生態系でバツタが大量発生したらどうなるのだろう」という問いを生徒が持った場合、学会を開催します。この課題は、ある事象を仮定したものであるため、決まった解答はありません。単純な知識だけでなく、既習事項を活用したり、議論のために条件を整えたりする力が求められます。また、根拠のある説明や、相手に分かりやすく伝えるための図を用いた



「〇組学会」で自分の考えを説明する生徒



「〇組学会」で自分の考えを説明する生徒

結びに  
今後も、幼保小中高の縦の接続を意識して授業を実践していくとともに、地域における科学分野の生涯学習に協力していきたいと考えています。

### 優秀教職員表彰

県教育委員会は、1月10日に平成28年度静岡県教育委員会優秀教職員表彰被表彰者を決定し、表彰しました。

この表彰は、県内の公立学校(政令指定都市を除く)に勤務する教職員の中で、学習指導、生徒指導、特別支援、学校体育や学校保健、学校給食、部活動、学校運営等で優れた教育実践や顕著な成果を挙げた教職員を称揚するものです。

被表彰者数については右のとおりです。

校種	小計	性別		平均年齢	職種				
		男	女		教諭	養育教諭	中級教諭	事務職員	技術指導員
幼稚園	5		5	44.6	5				
小学校	138	54	84	45.7	123	13		2	
中学校	71	39	32	46.1	65	3	1	2	
高等学校	117	89	28	47.2	108	3		5	1
特別支援	31	9	22	47.5	28	1		2	
合計	362	191	171	46.4	329	20	1	11	1

【教育総務課】

### 「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を実施しています!

進級・進学に伴い、スマートフォンなどの購入・機種変更等が多く行われる2月から5月の間、インターネットの安心安全な利用を呼び掛ける啓発活動が行われています。

近年、コミュニティサイト等に起因する児童生徒の犯罪被害は増加傾向にあり、その被害にあった児童生徒の約9割はフィルタリングを利用していませんでした。

また、児童生徒によるインターネット上のコンピュータウイルス提供事件や不正アクセス事件の発生が後を絶たないなど、児童生徒のインターネット利用に関する規範意識はまだ定着していません。

インターネット上の犯罪やトラブルから児童生徒を守るには、フィルタリングの利用とともに、進級・進学のこの時期に学校や家庭において児童生徒と一緒に「ルールづくり」をすることが大切です。

問 警察本部少年課、最寄の警察署、各地区少年サポートセンター ☎0120(783)410



復帰者と面談する筆者(右)

## 育休後も楽しく仕事を 職場復帰への不安解消に向けて

伊東市立南小学校 校長 宮下 美由貴

職員は、育児休業(育休)を子どもが3歳になるまで取得できますが、長期の休業は、職場復帰への不安も大きくなります。私は、自身の子育て経験を生かし、育休者として力を発揮して、職場復帰への不安が解消される取り組みはできないかと考えました。

### 育休者への手紙

平成27年4月に赴任した当初、本校には1年後に職場復帰を控えた職員が2人いました。そこで、復帰まで半年という子どもたちの声を聞き、不安解消に向けて

### 不安解消に向けて

「復帰間近に、むやみに怖がっていた自分の迷いが吹き飛んだ」二学校訪問の具体的なアドバイスのおかげでスムーズに復帰できた。これは復帰者から寄せられた感想です。

当然ながら育休中は学校現場から離れています。そこでまず、学校に来て子どもたちの声を聞き、不安解消に向けて、調整し、育休中の2人と同じ日に来校してもらったことは、本人たちにとって、心強さとともに、不安を持っていないのは自分だけではないという安心感につながったのではないかと思います。

### 『特別支援学級スタートブック』完成!

～特別支援学級に配布します!～

県総合教育センターでは、新たに特別支援学級の担任になる先生の学級経営をサポートするため、年度当初に取り掛かる内容や児童生徒の理解の仕方などをまとめた『特別支援学級スタートブック』を作成しました。

3月末に市町立小中学校の特別支援学級(政令市を除く)に配布します。また、当センターホームページからも閲覧できます。『特別支援学級担任のためのハンドブック』と併せてご活用ください。

問 総合教育センター専門支援課特別支援班 ☎0537(24)9755

特別支援学級  
スタートブック



ゆたかに元気で 元気よく 根気よく

静岡県総合教育センター

### ふじのくに家庭教育支援推進企業へ感謝状を贈呈!

県では、全ての保護者が安心して家庭教育が行えるよう、企業等における家庭教育支援の気運を高めています。

このたび、「家庭の日」を設定したり、家庭教育講座を実施したりするなど、家庭教育支援を積極的に推進している以下の企業・団体を「ふじのくに家庭教育推進企業」として表彰し、教育長から感謝状を贈呈しました。

#### 【表彰された企業等】

- 株式会社静鉄ストア
- オタフクソース株式会社
- 日本生命保険相互会社沼津支社
- 静岡県わた寝具商工組合
- 富士宮商工会議所青年部

日本生命保険相互会社沼津支社では、社内の研修会として、「子どもの睡眠～健康な体と心を作る睡眠パワー～」と題した家庭教育講座を実施しました。企業内での家庭教育講座により、普段支援を受ける機会を持つことが難しい働く保護者が、直接支援を受ける機会を得ることができました。

県では、引き続き家庭教育支援を社会総がかりで行うことを目指していきます。

問 社会教育課 ☎054(221)3115 静岡県/つながるネット で 検索



電子黒板を使った授業の様子

整った教育環境  
現地では高等学校や小中高一貫校など5つの学校を見学しました。全ての

シビアナ面も  
その一方で、生徒の学力に関しては妥協を許さず、一定のレベルに達しなければ留年も落第もありません。教員も指導力が高ければ契約を更新してもらえませんが、生徒にとっても教師にとっても大切な面です。

フィンランドは「教育の国」。人を育てることを大切に、教育は投資だと考えています。今回、この事業を通じてそんな国を実際に訪れ、視野を広げるチャンスを得たこと、そしてなにより、新しい人々との出会いにとても感謝しています。

皆さんはフィンランドと聞いて何を思い浮かべますか? サンタクロース? ミーミン? オーロラ? 私にとっては「教育の国フィンランド」。私はそんなフィンランドに夏休みを利用して訪問しました。



筆者(右)

フィンランドの教育制度  
フィンランドでは学校は9割以上が公立で、義務教育は日本と同じ9年間です。学費は大学まで全て無償。義務教育では給食も教科書も無償です。生徒の意識はとも高く、塾などに頼らず自分で学習する力が身に付いています。もちろん教員のレベルもとても高く、長期休暇を利用して海外の大学に短期留学するなど、常に指導力を磨いています。

教育は投資  
今回の研修で一番の収穫は、生の学校現場を体験できたことです。実際にフィンランドの先生たちと対話し、日頃の疑問をぶつけたり、日本のことも紹介したりしました。先生たちとは現在もメールで連絡を取り合っていて、今後生徒同士の交流ができないかと相談しています。

恵まれている面と厳しい面がはつきりしている国です。

総合教育センター  
ふなびろAngle

### LGBTを 尊重する姿勢を 専ら家庭科の授業で 育む

#### 教科書に初掲載

最近、メディアでよく耳にする「LGBT」という言葉を正しく説明できますか？Lはレズビアン、Gはゲイ、Bはバイセクシュアル、Tはトランスジェンダーの頭文字で、いわゆる性的マイノリティの人たちを意味します。来年度から高等学校で使用される教科書のうち、地理歴史、公民、家庭の3教科で、LGBTや多様な家族の在り方についての記述が加わったことが、新聞等で話題となりました。

#### 授業内外で肯定的なメッセージを

LGBTに関するポスターを校内に掲示したり、授業で肯定的なメッセージを伝えたりすることは、当事者である子どもに自己肯定感が育まれるきっかけになるでしょう。文部科学省では、「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応などの実施について(教職員向け)」を作成し公表しています。この資料は同省ホームページからダウンロードすることができますので、ぜひ一度ご覧ください。

家庭科の教科書では、人の一生と家族・家庭生活を扱う項目等に、LGBTが掲載されます。例えば、授業では王子さまと王子さまが結ばれる「王さまと王さま」や、動物の性の在り方も多様であることを描いた「タンタンタンゴはパパふたり」(ともにポット出版)などの絵本を導入して読み聞かせ、性の在り方について考えさせます。続いて、ジェンダー(社

会的・文化的につくられた男らしさ・女らしさ)によって感じる違和感について対話させ、自分らしく生きることに困難を抱える人の気持ちを理解させます。さらに、事実婚や同性カップルの暮らしを題材として取り上げ、異なる価値観を持つ仲間との対話と思考を通して、多様な人々と共に支え合って生きていくことの重要性を認識させます。家庭科では「理想とされる生き方」を示すのではなく、自分自身を見つめさせるとともに、直面する課題に向き合い、どう生きていけばよいかを考えさせることが大切です。

三島長陵高校の初級中国語講座の様子

### 県立高校の生涯学習講座 平成29年度前期受講生募集

県教育委員会では、社会人等を対象に毎年前期(5~7月)と後期(10月~12月)に分けて生涯学習講座を開講しています。三島長陵高校では、中国語を初めて習う方を対象に「初級中国語講座」を開講します。漢詩や現代詩、中国でも人気の漫画「ちびまる子ちゃん」の朗読などを取り入れ、笑顔の絶えない、楽しい雰囲気です。



開講時期(平成29年度前期) 5月~7月の週1回(全8回、一部講座は全10回)  
受講料 5,600円~※別途、教材費等が必要です。

会場(申込・問合せ)	申込期間	主な講座	連絡先
三島長陵高校(生涯学習振興室)	4/11(火)~5/10(水) 消印有効	初級中国語、中級スペイン語、はじめてのパソコン講座など	☎055(986)2000 ☎055(986)0570
静岡中央高校(生涯学習振興室)	4/3(月)~4/20(木)必着	いきいき脳活性化講座、韓国語初級、源氏物語を読むなど	☎054(209)2431 ☎054(209)2278
科学技術高校((株)PFIするがの技)	3/27(月)~4/15(土) 消印有効	旅行に役立つ英語講座、筆ペン・ペン習字、ヒーリングヨガなど	☎050(3541)8900 ☎054(262)9295

※詳しくは ○○高校(各学校名) 生涯学習講座 で 検索 【高校教育課】

### 観音山子どもフェスティバル開催!!

午前中は新緑の観音山でハイキングや沢登りをしながら、自然散策を楽しみます。午後はゲーム大会を企画。松ぼっくり釣りや輪ゴム鉄砲などの的当て、どんぐりつまみ競争、ピンゴ大会など、親子や仲良し家族同士で夢中になれるゲームが盛りだくさんです。子どもだけではなく、保護者の方も童心に戻って楽しめるはず。皆さんの参加をぜひお待ちしております!

- 日時 第1回:4月29日(土) 第2回:4月30日(日) 両日とも9時30分~15時30分
- 対象 家族・友だち
- 参加費 1人600円(昼食各自持参)
- 受付 4月2日(日) 午前9時から電話で申し込み、各回150人程度(先着順)

申・問 観音山少年自然の家 ☎053(545)0111  
〒431-2201 浜松市北区引佐町東久留女木字観音山

### 4月2日は「世界自閉症啓発デー」 4月2日~8日は「発達障害啓発週間」です

自閉症を含む発達障害の方の多くは、脳の働き方の違いから、対人関係やコミュニケーション等に苦しさを持っています。一方で、興味のあることには豊富な知識を持ち、高い集中力を発揮する方もいます。同じ発達障害でも、その特徴は一人一人違います。この期間中は、さまざまな形で、啓発メッセージが発信されます。自閉症や発達障害の方々の暮らしやすさのために、私たちができることを考えてみませんか?

静岡県 啓発デー で 検索 【県発達障害者支援センター】

**EDITOR**  
桜が見頃を迎えますが、静岡県庁の本館周辺に飾られているパシージュも華やかで目立っています。実はこのパシージュは、小笠原高校と静岡農林高校の生徒が育ててくれたものです。4月中旬まで飾られていますので、県庁の近くにお越しの際はぜひご覧ください。



平成24年度以降の交通事故の状況について、発生時の状況を示したのが右の表です。出勤・退勤時に交通事故が多く発生していることが分かります。

【交通事故発生時の状況】

平日	状況	割合
平日	出勤時	33.7%
	勤務時	11.8%
	退勤時	25.7%
	夜間	3.9%
	休日	24.9%

交通事故の発生原因として、前方不注意(よそ見運転)が圧倒的に多く、中には一時停止の見落とし、センターラインオーバー、居眠り運転、操作ミスなどもありました。

交通事故の発生原因として、前方不注意(よそ見運転)が圧倒的に多く、中には一時停止の見落とし、センターラインオーバー、居眠り運転、操作ミスなどもありました。

### 交通安全を 心と時間にゆとり を持って交通安全を

【事故の発生場所等】

交差点	41.3%
走行中	36.3%
渋滞中	12.8%
施設出入口 駐車場	9.6%

交差点は要注意!  
また、平成27年度の事故の発生場所等は左のとおりです。

48mmまでの厚みのある硬質メディアにも最適なパフォーマンスを発揮!!  
アクリルやノリパネなどに直接プリント可能!!

Tシャツをはじめとする様々なオリジナルプリントグッズを作成!!

小ロット印刷や短納期の印刷向け高速オンデマンド出力機 A4片面3600枚/時間が可能!!

企画からデザイン印刷まで可能な限り どのようなニーズにも対応!!

250ミクロンという一般の3倍の厚さのラミネートを自由自在にカット!!

●デザイン企画 ●文字入力・編集 ●製版フィルム出力  
●CTP製版出力 ●大判出力 ●パンフレット ●会社案内  
●チケット(ナンバリング可能) ●自費出版 ●商品カタログ  
●カレンダー ●ポスター ●POP ●チラシ ●PDFファイル  
●メニュー(ラミネート加工可能) ●ラベル ●ポストカード  
●DM(バリアブル印刷可能) ●スタンプカード その他

**株式会社 ライトグラフ**  
〒421-1221 静岡県葵区牧ヶ谷2385番地  
TEL (054) 276-2520 FAX (054) 276-2521  
HP : http://www.rakuten.co.jp/rightgraph/index.html